

平成22年 3月31日
中国建設副産物対策連絡委員会

お知らせ

同時資料提供先

- ・合同庁舎記者クラブ
- ・広島県政記者クラブ
- ・中国地方建設記者クラブ

平成20年度建設副産物実態調査結果について（中国地方版）

平成20年度に中国地方の建設工事から排出された建設副産物^{注1}を対象として、排出量、再資源化等の状況について調査を行いました。

今回、中国地方における調査結果がまとまりましたので公表いたします。

なお、全国集計結果については、国土交通省総合政策局にて同時公表いたします。

注1) 建設副産物：建設工事に伴って副次的に得られる物品であり、建設廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材など）及び建設発生土（建設工事の際に搬出される土砂）の総称。

【問合わせ先】

中国地方建設副産物対策連絡委員会 事務局

国土交通省 中国地方整備局 電話番号(082)221-9231(代表)

企画部 技術管理課 課長 あだち くにひこ 安達 久仁彦 (内線3311)

(担当) 課長補佐 きしべ あきかず 岸部 明和 (内線3315)

(広報担当窓口) 広報広聴対策官 やすだ ひろのぶ 安田 博信 (内線2117)

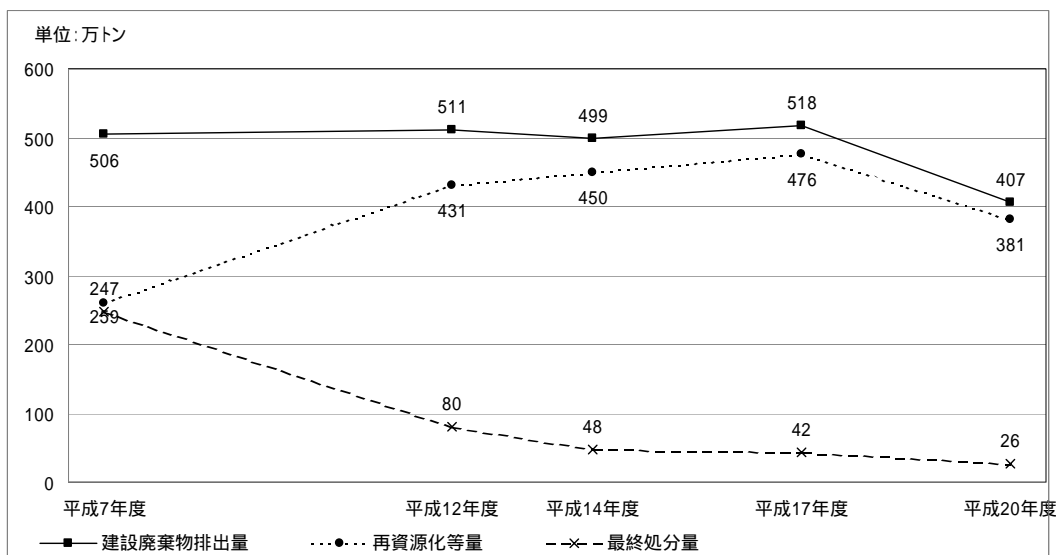
企画部 環境調整官 しおかた ゆきお 塩形 幸雄 (内線3114)

調査結果の概要

1. 排出量の動向

中国地方における平成20年度の建設廃棄物の排出量は約407万トン、建設発生土の排出量は約1,109万m³となりました。これは、前回調査平成17年度と比較すると、建設廃棄物で約21%、建設発生土で約29%の減少となっています。

建設廃棄物の排出量



建設廃棄物の排出量は、平成7年度から平成17年度までほぼ横ばいであったが、平成20年度は大幅に減少している。

最終処分量は、平成7年度から減少している。

表1. 建設廃棄物の排出状況

		場外排出量(万トン)			
		再資源化量	縮減量	最終処分量	
H 1 7	アスファルト・コンクリート塊	164	162	0	3
	コンクリート塊	236	230	0	5
	建設発生木材	52	38	11	4
	建設汚泥	23	12	4	7
	建設混合廃棄物	25	3	2	21
	その他(金属くず、廃プラスチック類など)	18	14	1	3
	建設廃棄物全体	518	458	17	42
H 2 0	アスファルト・コンクリート塊	114	112	0	3
	コンクリート塊	219	213	0	6
	建設発生木材	39	33	4	3
	建設汚泥	13	9	1	3
	建設混合廃棄物	13	2	0	10
	その他(金属くず、廃プラスチック類など)	9	7	1	1
	建設廃棄物全体	407	375	6	26

注) 四捨五入の関係上、合計値とあわない場合がある。

建設発生土搬出状況

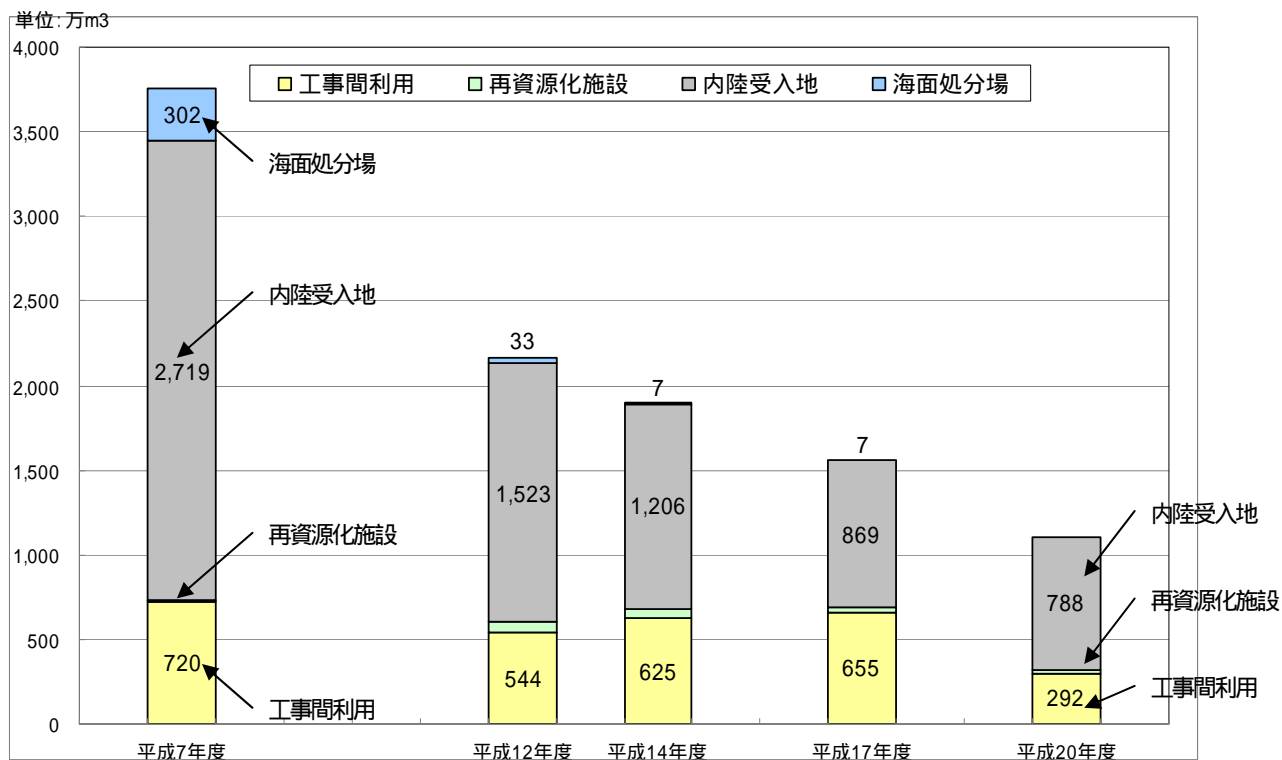


表2. 建設発生土の排出状況及び土砂の利用状況

H 1 7	建設発生土の排出状況	場外排出量 (万m ³)					現場内利用 (万m ³)
		工事間利用	再資源化施設	海面処分場	内陸受入地		
		1,563	655	32	7	869	
H 2 0	土砂の利用状況	搬入土砂利用量 (万m ³)					現場内利用 (万m ³)
		新材利用	建設発生土利用	土質改良土	汚泥処理土	再生砂	
		992	294	655	32	2	
H 2 0	建設発生土の排出状況	場外排出量 (万m ³)					現場内利用 (万m ³)
		工事間利用	再資源化施設	海面処分場	内陸受入地		
		1,109	292	29	788		
H 2 0	土砂の利用状況	搬入土砂利用量 (万m ³)					現場内利用 (万m ³)
		新材利用	建設発生土利用	土質改良土	汚泥処理土	再生砂	
		514	184	292	29	2	

注) 四捨五入の関係上、合計値とあわない場合がある。

2. 再資源化等の状況

平成20年度の建設廃棄物の再資源化等及び土砂の再生利用状況を前回調査平成17年度と比較すると、次のとおりです。

	平成17年度	平成20年度	増減	平成20年度 全国
アスファルト・コンクリート塊の再資源化率 ^{注2)}	98.5%	97.7%	-0.8%	98.4%
コンクリート塊の再資源化率	97.8%	97.4%	-0.4%	97.3%
建設発生木材 ^{注3)} の再資源化率	72.3%	83.2%	10.9%	80.3%
建設発生木材の再資源化等率 ^{注4)}	92.6%	92.2%	-0.4%	89.4%
建設汚泥の再資源化率	53.5%	64.3%	10.8%	69.8%
建設汚泥の再資源化等率	69.4%	75.3%	5.9%	85.1%
建設混合廃棄物の排出量	25.5万ト	12.9万ト	-12.6万ト	267.0万ト
建設廃棄物の再資源化等率	91.8%	93.5%	1.7%	93.7%
利用土砂の建設発生土利用率 ^{注5)}	86.3%	84.1%	-2.2%	78.6%

建設発生木材の再資源化率、建設汚泥の再資源化等率については、平成17年度と比べ向上しており、建設混合廃棄物の排出量については大幅に削減されております。

一方、アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、利用土砂の建設発生土利用率は、平成17年度と比べ、ほぼ横ばいとなっております。

また、全国平均との比較では、建設発生木材の再資源化率、建設発生土利用率が大きく上回っており、建設廃棄物全体では概ね同程度となっております。

3. 中国地方建設リサイクル推進計画2009の進捗状況

中国地方建設リサイクル推進計画2009における目標年である平成24年度及び中間年度である平成22年度との達成状況は以下のとおりです。

建設発生木材（再資源化率）及び建設混合廃棄物の排出量削減については、平成22年度中間目標及び平成24年度目標をともに達成しております。

	平成20年度 調査結果	平成22年度		平成24年度	
		中間目標値	平成20年度 結果との比較	目標値	平成20年度 結果との比較
アスファルト・コンクリート塊の再資源化率	97.7%	98%以上		98%以上	
コンクリート塊の再資源化率	97.4%	98%以上		98%以上	
建設発生木材の再資源化率	83.2%	78%	達成	79%	達成
建設発生木材の再資源化等率	92.2%	95%		95%以上	
建設汚泥の再資源化等率	75.3%	82%		85%	
建設混合廃棄物の排出量削減(H17比)	49%削減	25%削減	達成	30%削減	達成
建設廃棄物の再資源化等率	93.5%	94%		94%	
利用土砂の建設発生土利用率	84.1%	89%		91%	

注2) 再資源化率：建設廃棄物として排出された量に対する、再資源化された量と工事間利用された量の合計の割合。

注3) 建設発生木材については、伐木材、除根材等を含む数値である。

注4) 再資源化等率：建設廃棄物として排出された量に対する、再資源化及び縮減された量と工事間利用された量合計の割合。なお、再資源化等とは、再資源化及び縮減のこと。

注5) 利用土砂の建設発生土利用率：土砂利用量（搬入土砂利用量＋現場内利用量）のうち土質改良を含む建設発生土利用量の割合。